

ちなみに、

先月からスタートした活動日記2回目の担当はえりきみの「きみ」こときみちゃんです。
わたしたちの活動についてはFacebookページ「おきのえらぶ地域おこし協力隊-知名町」
(<http://facebook.com/okino.e.lab>)でもご紹介しています!お問い合わせもお気軽にどうぞ!



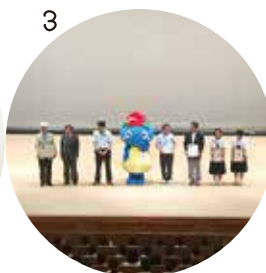
こんにちは。田皆字担当のきみちゃんことかまきみです。今年の4月に小学生の娘といっしょに東京から知名町に引っ越してきました。

えらぶに来てこの三か月で娘は田皆ヤッコを踊れるようになり、ウミガメの産卵を見学したり、浜でさばかれていたハリセンボンの皮と内臓を譲り受けて解剖してみたり、打ち上げられたサメやウツボを観察したりと、東京では経験できない刺激的な経験をたくさんすることができました。えらぶだからこその学び方がここにはたくさんあるんだなあとわくわくしながら毎日を過ごしています。

今、日本の教育は大きく変わろうとしています。これまでの日本の教育はペーパーテストによる評価を軸とした知識の暗記に重点が置かれていましたが、これからは「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」を育むことが求められています。そのため二〇二〇年には大学センター試験が廃止され、新しい制度がスタートしますし、学校でも先生が大勢の生徒の前に立つて講義する一斉授業だけでなく、生徒同士が話し合ったり相談したりしながら学びを深めていく双方向協働型の授業が多く取り入れられるようになってきました。

教育の転換期を迎えようとしている今、わたしは「えらぶで学ぶ」ことの価値を問い直したいと思っています。これからの新しい教育は地域の中で育まれることが望ましいとされており、えらぶのような地域でこそ生きたものだと思っています。

ちなみに、今わたしがやってみたいと思っているのは子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じることが出来る学びの場づくりです。この場づくりには地域のみなさんの力が必要です。教育に関心をお持ちの方(中高生も大歓迎!)がいらっしやいましたら、お気軽にお声がけいただけると嬉しいです。



1_ウミガメの産卵チェックはじまりました。2_先月受粉したパッションフルーツが...! 3_小惑星「Chinacyo」命名式典にて。4_芭蕉から芭蕉の糸ができるまで。5_8/5,6日は知名町ふるさと夏祭り! 商工会青年部のお祭り会議(定例会)に参加してわくわくが止まりません!